

七尾のクリニック 新生児の記録写真展

生まれたたての姿パチリ

七尾市国分町の桑原母と子クリニックで、同クリニックで誕生した赤ちゃんの写真展が開かれている。同市在住のフォトグラファ―小杉夏美さんが撮影した30枚ほどが並ぶ。通院、入院する人のほか、平日の午後

飾った赤ちゃんの写真を
見つめる小杉夏美さん＝七尾市国分町で



1時から2時半は、一般の人も見ることができ。12月28日まで。

小杉さんは3年ほど前に同クリニックで出産を経験。桑原崇院長の勧めもあ

り1年前、新生児を記録する「Newborn Photo」を始め、30人ほどを撮影してきた。生後14日以内にこだわり、多くは入院中の生後5日以内に、院内で撮影する。

写真の魅力は神秘的な雰囲気。黒や白の背景に、赤ちゃんが浮かび上がるように写る。両親の希望で、おもちゃやおくるみなどの小道具を使うことも。小杉さんは「出産を経験されて大変な中、少しでも癒やした、思い出になつてくれたら」と話している。

(浜中創太)